



# 七戸町 議会だより

2019 年

NO. 57

令和元年8月1日発行

青森県七戸町議会

広報編集特別委員会



玉落とし競技の様子

中部上北消防連絡協議会連合観閲式（令和元年6月16日）

## 6 月 定 例 会

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 定例会の主な審議内容..... | 2 ～ 3 |
| 一般質問に2人登壇.....  | 4 ～ 5 |
| 委員会の動き.....     | 6     |

6月

定例会

主な審議内容

議案

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令及び学校教育法の一部を改正する法律の公布に伴い、同法等の改正内容に準じて、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

○観光交流センター条例の改正

観光交流センターに係る施設の使用料を新

令和元年第2回定例会は6月3日に開会し、白石洋議会運営委員長の報告の  
おり、会期を7日までの5日間と決定しました。  
3日は、今定例会に上程された議案について町長の提案理由説明、4日は一般  
質問（2人）、最終日の7日は議案審議を行いました。  
提出された議案は、本会議で審議され、全議案可決され閉会しました。

たに定めることに伴い、  
条例を改正するもので  
す。

☆全会一致で可決

○物品購入契約の締結  
（消防ポンプ車  
（CDI型）購入）

消防ポンプ車の購入  
契約のため、議会の議  
決を求めるものです。

☆全会一致で可決

○工事請負契約の締結  
（上見町橋橋梁整備工  
事）

上見町橋橋梁整備工  
事の契約のため、議会  
の議決を求めるもので  
す。

☆全会一致で可決

○工事請負契約の締結  
（蛇坂団地造成工事）

蛇坂団地造成工事の  
契約のため、議会の議

報告

○令和元年度補正予算  
（下記表参照）

☆全会一致で可決

《令和元年度予算関係》

・一般会計補正予算  
（第1号）

☆全会一致で承認

○平成30年度七戸町一般  
会計繰越明許費繰越計  
算書の報告

平成30年度予算のう  
ち令和元年度へ繰り越  
したもの（3事業）に  
ついて報告するもので  
す。

☆報告

○平成30年度七戸町一般

会計事故繰越し繰越計  
算書の報告

平成30年度予算のう  
ち令和元年度へ繰り越  
したもの（2事業）に  
ついて報告するもので  
す。

☆報告

諮問

○人権擁護委員の推薦に  
つき意見を求めること  
について

人権擁護委員に小原  
勇作氏を推薦するため  
のものです。

☆全会一致で同意

請願

○種子法廃止による公共  
種子を守るための請願

☆採択

令和元年度6月補正予算

| 区 分         |                 | 補 正 額       |          | 予 算 総 額       | ○一般会計補正予算<br>（歳入の主なもの）<br><br>・国庫支出金 2,766万5千円<br>・県支出金 1,160万1千円<br>・繰入金 2,204万9千円<br>・町債 1,820万0千円                                                    |
|-------------|-----------------|-------------|----------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一 般 会 計     |                 | 8,151万5千円 → |          | 105億4,565万7千円 |                                                                                                                                                         |
| 特 別 会 計     | 国 民 健 康 保 険     | △ 583万3千円 → |          | 20億1,017万3千円  |                                                                                                                                                         |
|             | 介 護 保 険         | 659万8千円 →   |          | 25億9,703万1千円  |                                                                                                                                                         |
|             | 公 共 下 水 道 事 業   | △ 312万6千円 → |          | 4億3,859万3千円   |                                                                                                                                                         |
|             | 農 業 集 落 排 水 事 業 | 8千円 →       |          | 6,188万2千円     |                                                                                                                                                         |
| 水 道 事 業 会 計 |                 | 収益的収入       | 74万5千円 → | 3億4,177万9千円   | ○一般会計補正予算（歳出の主なもの）<br>※4月人事異動による予算組替を除く<br><br>・民生費 4,650万0千円 社会福祉費 2,000万円（プレミアム付商品券事業費補助金等）他<br>・教育費 5,732万0千円 社会教育費 1,850万7千円（（仮称）ニツ森貝塚縄文資料館整備工事費等）他 |
|             |                 | 収益的支出       | 74万5千円 → | 3億0,719万1千円   |                                                                                                                                                         |

# 発議

○荒熊内地区開発事業対策特別委員会の設置

駅周辺荒熊内地区整備の調査研究をするため、設置するものです。

☆原案可決

荒熊内地区開発事業対策特別委員会

委員長 附田 俊仁  
副委員長 三上 正二  
委員 正副委員長以外  
議員全員

○種子法廃止による公共種子を守るための意見書の提出

☆原案可決

○新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出

賛成15人 反対0人

☆可決

## 町村議会広報研修会

(5月22日)



議会広報研修会の様子

青森県町村議会議長会主催の広報研修会が青森県労働福祉会館で開催されました。この研修は、「議会だより」の基本と編集の向上を目的として、毎年行われております。講師に、全国広報コンクルの審査員などを務めているグラフィックデザイナーの長岡光弘氏をお迎えし、「広報紙制作のスキルポイント」と題して、住民に分かりやすい紙面編集の講演をいただきました。

## 七戸第3分団（蒼前・館野地区）消防ポンプ自動車配備

七戸町消防団七戸第3分団（蒼前・館野地区）に、電源立地地域対策交付金（東北経済産業局）を活用し、新しい車両を配備しました。

町の消防力の強化が図られ、地域住民の生命、身体及び財産を災害等から守り、これからも引き続き消防活動に期待されます。

また、今年度には天間林第3分団（中野地区）に配備される予定です。



### <お詫びと訂正>

議会だよりNo.56号の8ページ、教育委員会委員について、誤字がありました。

お詫びいたします。正しくは以下のとおりです。

【誤】 菊池 龍達 議員

↓

【正】 菊池 龍達 委員



## 一 般 質 問

佐々木 寿夫 議員

町の中小企業・小規模企業の振興を  
進めるため、振興条例を定める考えは

町長

中小企業・小規模企業者の持続化、起業・創業支援  
に取り組み、今後の社会情勢、動向を注視したい

一問一答方式

議 員

人口減少は町、県や国全体でも深刻な問題になっている。

町でも移住・定住対策、子育て支援など他町に先駆けて先進的な取り組みをしてきた。

しかし、今、この問題は町当局や議会を挙げて本気で取り組むべき最重要課題と思う。

私は、この問題解決に迫るため、今定例会では、若者に働く場を提供し、町の活性化の基本である地域経済を支える中小企業・小規模企業の振興について取り上げる。

2014年6月20日、第186国会で小規模企業振興法が成立し、国と

すべての自治体に小規模企業への支援が責務として明確化された。

町の中小企業・小規模企業の振興が喫緊の課題であるが、町は基本的な対策をどう考えているか。

町長

振興策として、小規模事業者の借り入れに対する保証料の補給、創業スタートアップ支援事業、創業支援セミナーの開催、コミュニティスペースの提供、よろず支援相談窓口の設置などを行っている。今後も中小企業・小規模企業者の持続化と、起業・創業支援に取り組んでいく。

議 員

町や商工会もさまざまな取り組みをしているが、総合的な取り組みの姿勢や関係機関、商工会、業者、金融、学校、町民などの役割分担をもっと明確にすることを求める。

町内で生産・加工された製品や提供されるサービスを町内で積極的に利

活用することが最重要課題だが、町はこのことをどのように進める考えか。

町長

イベント等で町の特産品を積極的に取り入れ、補助事業においても、補助金の一部を町内の商品券とする対応をしている。道の駅しちのへ産直施設は、町内消費の大きな役割を果たしている。

町内消費活動による地域内消費循環は、経済的にも大切な要素で、その意識を持つて今後も取り組んでいく。

議 員

企業同士での域内需要を高める相互協力の取り組みをどう進めるか。

町民の協力・企業の役割など、町のリーダーシップが必要ではないかと思う。

若年者等の人材、後継者の育成が急務と考えられるが、これに對してどのように指導していくか。

町長

人材育成、後継者の問

題は商業のみならず、農業、建設業、町内全ての産業において最も重要な課題の一つである。

七戸町商工会では、小規模事業者を支援するため、本年度から経営発達支援計画に沿った支援事業を展開している。

町、商工会、青森県事業引継ぎ支援センターなどの支援機関とともに、支援事業を継続していく。

議 員

U・I・Jターンして町内に就職する人がふえることが痛切に願われるが、そのための企業への奨励金制度などつくる考えはないか。

町長

企業への奨励金制度については、今は考えていない。

企業への奨励金ではなく、転入者への助成制度を拡充し、既存の新築住宅補助、ヤングファミリー向け家賃補助に加えて、今年度から東京23区から町に転入した場合、移住

し就職した方に対する移住支援金を補助していく。

議 員

地方行政の中に中小企業・小規模業者支援を位置づけ、総合的な枠組みの中で関係機関の役割を明確にし、町ぐるみの体制をつくるにはどうしても「中小企業・小規模企業振興条例」が必要と思う。

今、全国的にこれを制定する動きが高まっているが、町は制定する考えはないか。

町長

全国の商工会を有する市町村を対象に、制定状況は約29%。県内では、青森市、八戸市、十和田市、三沢市、むつ市の5市、東北地方では六つの町が制定している。

今すぐに制定は考えていないが、条例の有無にかかわらず、中小企業・小規模企業の振興を支援していく。

## 人口減少対策の効果と今後の取り組みは

町 清悦 議員



一問一答方式

町長

人口減少は緩やかになっており、今後の取り組みは第2期総合戦略で示したい

議員

まち・ひと・しごと創生七戸町総合戦略に基づいて人口減少対策に取り組み4年経過した。

人口の減り方はどのように変わったか。

町長

2015年の国勢調査では、15,709人。町独自推計の15,534人よりも多い。このまま推移すれば、2020年の国勢調査後の人口が町独自推計よりも若干上回ると予想される。人口ビジョン策定当初より人口減少は緩やかになっており、総合戦略で取り組んでいる事業等が人口減少の抑制につながっていると考えている。

議員

人口増加に転じること为目标に、今後どのように取り組むか。

町長

総合戦略は今年度で5カ年計画の最終年度になる。第1期総合戦略の取り組みやKPI（重要業績評価指標）を検証し、効果や課題を明確にし、PDCAサイクルによる第2期総合戦略を策定する予定。それにおいて、人口減少対策についての方向性や取り組み内容等を示したい。

議員

平成22年の国勢調査によると、町の35〜39歳と45〜49歳の男性の未婚率が全国平均よりも高い。

独身者の70%が、将来結婚する相手にはたばこを吸わないことを望んでいるというアンケート結果もある。未婚率と喫煙率の関係についての分析も必要だと感じた。

①結婚する率を高めるための取り組み状況は。

②出生率を高めるための取り組み状況は。

町長

①若い男女の出会いの場を創出するために、若者移住促進事業実行委員会を組織し、婚活ツアーや趣味コン等を企画した。平成26〜30年度までに13の事業を実施し、民間事業者である結婚相談所と町が協定書を締結し、入会金や活動経費の一部補助も実施してきた。今年度は、若い男女が交流できる機会をふやすため、民間団体や事業所等が企画する婚活イベント等に対する補助金を予算計上し、町民一体となった取り組みを進める。②若い男女の出会いの場の創出が、未婚率の低下を改善し出生率を高めると考えて取り組んでいる。子育て支援策も重要であり、出産や子育てに係る経済的支援は継続して取り組んで行きたい。

議員

町では多額の予算を確保

保し子育て支援を行っているが、私は親も自分の子供の子育て支援をすることが大事で、自分の子供が自分の家から出て行って戻って来ないという危機感を町民一人一人が持たなければならぬと思う。町の人口減少の要因としてUターン率が低いこともある。

給料が高い大企業に就職し、Uターンした場合、所得格差が大き過ぎて、Uターンしにくいという状況も考えられる。

所得格差とUターン率との関係の分析は。

町長

現在は行っていないが第2期総合戦略の策定において、Uターンに関する取り組みについて検討することとしている。

議員

「私の幸福論」というテーマの宿題のおかげで自分や家族の幸せについて意識し続けることができ、私の場合はUターンにつながった。

町内のUターン者を対象にアンケート調査をし、分析に活用しては。

また、子供が戻りたいと思っけていても、それを親が止めている例を幾つか見て来た。親の意識調査も行う考えは。

町長

現在、町民課と庶務課において、転入者と転出者へのアンケート調査を実施しており、転出者のUターン意思を把握することとしている。第2期総合戦略の策定に向けて、町内在住者へのアンケート調査も行う予定。親の意識調査は大変よいことなので、調査項目に加え、いろいろ協議しながら進めていきたい。

議員

最も効果的な対策は、町民一人一人に自分にとっても重要な課題だと認識させ町民の自助努力を引き出すことだと思う。

# 委員会の動き

## ◎総務企画常任委員会

開催日 令和元年5月20日

案 件 ①令和元年度各課事務事業計画

②平成30年度徴収見込み(税務課)

内 容 各課長より事務事業計画等について、税務課長より徴収見込みについて説明を受け協議した。

懸案事項は、関係課長より説明を受け協議した。

議した。

議した。

開催日 令和元年6月3日

案 件 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

提出依頼に係る取り扱いについて

内 容 「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」について審査し、議員発議で提出するものとした。

議した。

議した。

## ◎建設産業常任委員会

開催日 令和元年5月21日

案 件 ①令和元年度各課事務事業計画

②滞納状況(建設課・上下水道課)

内 容 各課長より事務事業計画等について、建設課長及び上下水道課長より滞納状況について説明を受け協議した。

懸案事項は、関係課長より説明を受け協議した。

議した。

議した。

開催日 令和元年6月3日

案 件 請願の取り扱いについて

内 容 「種子法廃止による公共種子を守るための請願」について審査し、採択すべきものとした。

議した。

## ◎文教厚生常任委員会

開催日 令和元年5月23日

案 件 ①令和元年度各課事務事業計画

内 容 各課長より事務事業計画等について、説明を受け協議した。

懸案事項は、関係課長より説明を受け協議した。

議した。

議した。

開催日 令和元年7月9日

案 件 学校訪問

(天間林中学校・天間林小学校)

内 容 各学校を訪問し、教育方針や学校、生徒の様子などの説明を受け、授業を視察した。

議した。

議した。

## ◎議会運営委員会

開催日 令和元年5月29日

案 件 6月定例会会期日程等について

内 容 ・提出議案について

総務課長及び財政課長より提出議案等の説明を受け審議した。

・一般質問通告書について

質問内容等を審議した。

議した。

議した。

・陳情等の取り扱いについて

請願1件を建設産業常任委員会へ付託、陳情2件を資料配付、発議1件を議案審議の日程で処理することにした。

議した。

議した。

・会期について

会期日程を審議した。

## ◎議会広報編集特別委員会

開催日 令和元年7月2日・11日

案 件 議会広報第57号の編集について

内 容 8月1日発行の「しちのへ議会だより」の編集を行った。

議した。

## 編集後記

える必要性が述べられました。

当委員会では、このことをしつかり議論し、準備し、実行し、町民が手にし、読みたいとなる紙面にしたいと思っています。

「町民の声」を載せなければと思っていました。

先日行われた青森県町村議会広報研修会に参加しました。その際、住民の代表者である議会を強く打ち出した広報の企画・編集例として、住民からの意見情報を紙面に加

(佐々木)

議会広報編集特別委員会

委員長 山本泰二

副委員長 佐々木寿夫

委員 小坂義貞

二ツ森英樹

向中野幸八

中野正章